WIDE合宿研究会でのWIFIメッシュ 無線ネットワークサービス運用実験 を通じた課題定義

島慶一¹ 坂根昌一² 妙中雄三³

¹IIJイノベーションインスティテュート

²シスコシステムズ

³東京大学

2012年6月1日

背景

- 無線通信技術への要求
 - 会議/イベントネットワークや災害復旧ネットワークでの迅速な一時ネットワークの構築
- 無線通信技術への不信
 - 有線と比較して低い通信帯域
 - 見えない通信路でのトラブルシューティングの困難さ

活動の趣旨

- 無線通信の不信の原因を取り除く
 - 通信性能の計測評価と、問題点発見のための情報収集
 - 実ネットワークを利用した運用経験の蓄積と共有

実ネットワークでの運用実験

- WIDEプロジェクト2012年春合宿研究会を題材
- 2つの異なるメッシュネットワークを運用
 - Layer 2 メッシュネットワーク
 - Layer 3 メッシュネットワーク
- トポロジの推移、利用者数の推移、帯域測定を実施

研究会概要

- 開催場所: 信州松代ロイヤルホテル
- 期間: 2012年3月5日から8日 (4日間)
- 参加者数: 166名

会場レイアウト

80m

50m

会場レイアウト

80m

Board
100m²以下
最大20名

BoF2
100m²以下
最大60名

BoF1
100m²以下
最大60名

Plenary
175m²
最大150名

Workshop (WS)
約1015m²
最大200名

50m

- バックヤード
- ネットワーク線
- 電源線
- コンセント
- デスク
- プロジェクタ
- 床モジュール

LAYER 2メッシュユ

機材名	役割
Cisco AIR-2125-K9	Wireless LAN Controller
Cisco AIR-1262N-Q-K9	Wireless LAN Access Point
Cisco AIR-PWRINJ4=	Wireless LAN Access Point PoE adapter
Cisco WS-C3560CG-8PC-S	PoE Ethernet Switch

アクセスポイント配置 (初期)

アクセスポイント配置

チャンネル設定

- バックホールネットワーク
 - 802.11an 36ch (20Mhz時) / 802.11an 36,40ch (40Mhz時)
- 利用者ネットワーク
 - 802.11gn チャンネル自動割り当て (1, 6, 11ch)

LAYER 3メッシュ

機材名

役割

エヌ・ティ・ティ ピー・シー
コミュニケーションズ
MR1200 (非売品)

Wireless LAN Access Point (カスタマイズ OpenWRT を使用)

アクセスポイント配置

チャンネル設定

- バックホールネットワーク
 - 802.11an 36ch
- 利用者ネットワーク
 - 802.11gn
 - 1ch: AP-1, AP-4, AP-7, AP-8
 - 6ch: AP-2, AP-6, AP-9
 - 11ch: AP-3, AP-5, AP-10

トポロジ推移 (L2)

WIDE CAMP 2011 Autumn @ Matsushiro rev.005
L1 Map

0m 10m 20m 30m

A3全体印刷で
1:250

トポロジ推移 (L3)

WIDE CAMP 2011 Autumn @ Matsushiro rev.005
L1 Map

2012-03-06_12:00

帯域測定 (L2, 20MHz)

帯域測定 (L2, 20MHz)

帯域測定 (L2, 40MHz)

帯域測定 (L2, 40MHz)

帯域測定 (L3)

帯域測定 (L3)

収容ユーザー数 (L2)

収容ユーザー数 (L3)

課題

- 理想環境でのシングルホップ/マルチホップの通信性能計測による参照値の取得
- 理想環境で疑似的に距離を離れた環境での距離と性能の関連の調査
- 外乱のモデル化と外乱を考慮した無線エミュレーション環境の実現
- WiFiメッシュネットワークの性能評価指数の定義
- 実環境での実験要素となる実験無線メッシュ機材の開発
- 実環境での実験とモデルの検証

まとめ

- 無線技術の必要性と応用場面の確認
- WIDE研究会ネットワークを題材とした既存技術の運用による運用経験の蓄積と基礎データの取得
- 実用的な無線メッシュネットワークの開発に必要な研究開発課題の定義